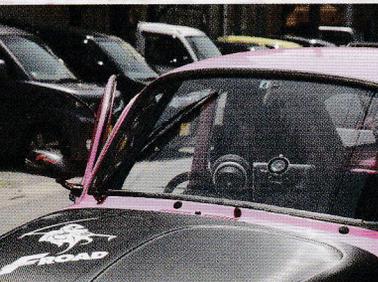


梅雨入り前に  
ワイパー交換

F-ROAD ビンビープロジェクト Vol.33  
サードシーズン!  
SUPER-BEETLE PROJECT 4th SEASON

文●半谷範一 撮影●森口信之  
取材協力●ベストインポートサービス(BIS)  
tel:048-282-6119  
http://www.vw-bis.co.jp

あれれっ! ビンビー、何故かフロント側をジャッキアップして、今月号のお題と全然関係なさそうな作業をしていますね。何でこんなことになってしまったのか? に関しては、次号をお楽しみに(笑)。



そろそろ梅雨時なので、ワイパーブレードを交換することにしました。ビートルのワイパー、はきりってショボイです。特にフロントウィンドウが広い曲面ウィンドウになっている1303系の場合、ヘタってくると雨の日はかなり不安な状況になることもあります。アームの部分のスプリングのテンションが弱っている場合にはアームごと交換した方が良いでしょう。



爽やかに良く晴れた午後、こんな感じでまったりコーヒーなんか飲みながら、気の合う仲間とクルマをいじって楽しむという至福の時間。その上に原稿料までもらえるんだから、この仕事は止められません。さあ〜、そろそろ作業しようかな。

街乗り始めて不具合の洗い出し  
今月は4つのプチメンテをやります

ピンビー、先月から街乗り用に使ってみて判明した不具合/不満をひとつずつ潰して行くという作業に入りました。まあ短距離、短時間の使用では大して気にも止めなかったような些細なことでも、毎日の足として使ってみると、色々不満(や不安)が出てくるものですからね。というわけで、今月も先月の続きで細かい改善の作業をお送りすることにします。

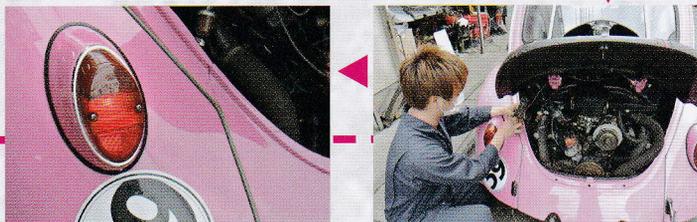
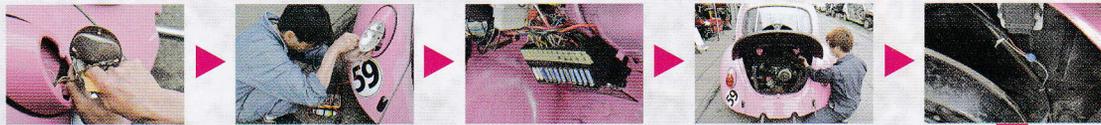
今月の作業は、①拭き取りが悪くなっていたワイパーブレードの交換、②タペットカバーからのオイル漏れの修理、③点かなくなっていたスモールランプの修理、④ヒーターレバーの取り付けの4点。

現実的には①③は消耗品の交換の範疇なので、大した手間は掛かりません。④のヒーターレバーに関しても、実は以前にレース仕様にするときに外してしまっただけで、単純な取り付け作業です。手際の悪い我々エフロード取材班でも、この程度の作業なら楽勝だね〜!と思っただけのもの、何と予想外の事態が発生することになり、ピンビーは不動状態となってしまいました! トラブルの状況に関しては、次回のエフロードをお楽しみ?

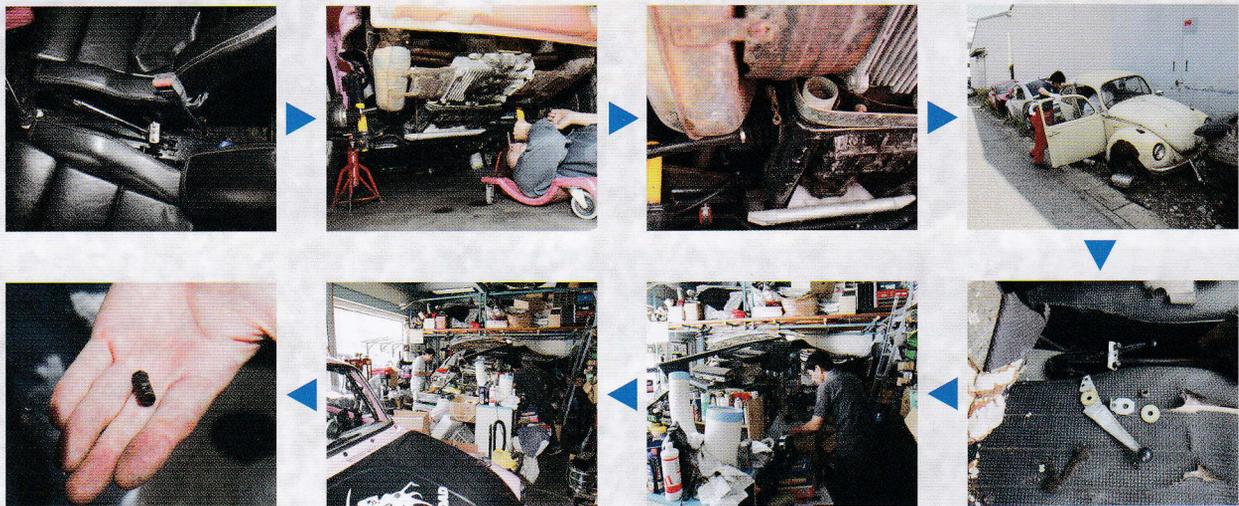


## スモールランプの点検・修理

この左側のスモールランプ、以前から点いたり点かなかったりを繰り返しています。最初はベース側の接触不良を疑ったのですが問題なし。方向指示灯もブレーキランプも点灯するのでアースも大丈夫。ヒューズも問題ないので、なぜかライトスイッチを入れたとき、ちゃんとプラスの電気が来ていませんでした。まあとりあえず点かないとまずいので、プラスを右側のスモールランプから取ることにしました。



## ヒーターレバーの取り付け



空冷VWはエキパイの外側にヒートエクステンジャーを被せて、ヒーターの熱源に利用しています。しかしレース用エンジンに装着されていたタコ足にはエクステンジャーがなかったため、以前にレース仕様にする際に開閉レバーごと外してしまいました。現在の街乗り用のエンジンはエクステンジャーが付いているもので、載せ替えたのが冬だったので、常にエクステンジャー全開状態(=暖房が出っ放し)で固定しておきました。でもさすがに暑くなってくると、ちゃんと閉じられないと不便ですね。運良くエクステンジャーを開閉するワイヤーは残っていたので、レバーを解体車から外し、ワイヤーを止めるコネクターをBISの工場の膨大なパーツの山の中から発掘! して再度開閉できるようにしておきました。

## オイル漏れを修理



古Q編集長が右側からオイルが漏れているというので確かめてみたら、案の定、タベットカバーのバックギンからのオイル漏れでした。このバックギン、ご覧のようにコルクで作られているので、交換するのが簡単である反面、あまり耐久性は高くありません。消耗品として、にじんできたらこまめに交換するしかありませんね。タベットカバーは弁当箱みたいなプレス成形のパーツで、ごつい針金みたいなストッパーで固定されているだけ。ドライバーでこじれば簡単に外れます。取り付け時にバックギンがずれることがあるので、脱脂してG7みたいなボンドで止めておくという方法もあります。カバーの横のホースはレース用に追加した部品で、オイルキャッチタンクにつながっています。

